

同じ情報を同じ時間に...



大阪A選挙区 総代
山田美登里さん

障がい者ポ
ランティアチ
ームは毎週、
声の商品案内
CDや請求明
細の点字版をお届けしています。東日
本大震災の後、募金や物資受付などの
情報は「本部対策速報」を臨時にCD
発行、「はるタイム臨時号」は、土曜日
まで待つて作業することで同時配布を
可能にしました。CDを発行している
意義を改めて認識、これからも共に何
ができるか考え進んでいきたいです。

組合員活動について



枚方選挙区 総代
藤井 由美さん

委員会活動
は、自分が感
銘を受けた体
験を人に共感
されて伝わっ
た時に充実感を得ることができ、反対
に力不足を嘆く時もあります。そこに
至るまで悩んだり、調べたり、考えたり、
容易ではないけれど、「そつか」と
思える道筋が見えた時、満足感を生む。
普段、家事をしてもなかなか手に
することのできない感覚であるし、組
合員活動の醍醐味だと思います。

生協の野菜が一番!



大阪D選挙区 総代
矢賀 幸子さん

子どもの頃
に食べた、生
協の商品で作
った叔母の手
料理の影響
で、「私も結婚したら生協に入る!」
と思っていました。今年2月子どもと
参加した「生産者との交流会」では、
おいしい人参と出会い、家庭でも子ど
もたちといういろいろ考えたりしました。
私たちが生協で野菜を利用することが
生産者の方々に応援することだと信じ
ています。

今こそ日本の農業を守り、
生産者を支えるとき。
手遅れになる前に...



大阪C選挙区 総代
橋本佳穂理さん

地球温暖化
・自然災害の
影響から、世
界中で農作物
が不作となる
状況がおきています。震災前には自由
貿易交渉の一つである「TPP」に日
本も参加する意向であると報道されて
いましたが、今こそ日本の農業を守
り、生産者を守り存続させていかな
ければなりません。パルコートの一員と
してできることを考え、行動してい
きたいと思えます。

商品の利用で
食卓を守ろう!!



大阪D選挙区 総代
宮部 典子さん

学習会でト
マト栽培は手
間や苦勞が多
いと聞きました。
それが報
われなければ後継者も現れず、日本の
農業は衰退する一方です。本当に安全
でおいしいものがほしいなら、その対
価に見合った価格を支払わなければなら
ないと思います。交流を通じて生産者
の方にお礼や感謝・励ましを伝え、商
品の利用で日本の自分たちの食卓を守
っていきましょ。

今こそ協同の力を



大阪C選挙区 総代
増田 清美さん

東日本大震
災の時、誰も
が被災地のた
めに何か役立
てることはな
いかと考えました。パルコートではメ
ーカーの支援や放射能の風評被害に対
しても検査機器を導入して安全をきち
んと検査して届けるということです。私
たち組合員にできるのは、一にも二に
も利用することだと思います。利用す
ることで、メーカーや産地が復興して
いけると強く信じています。

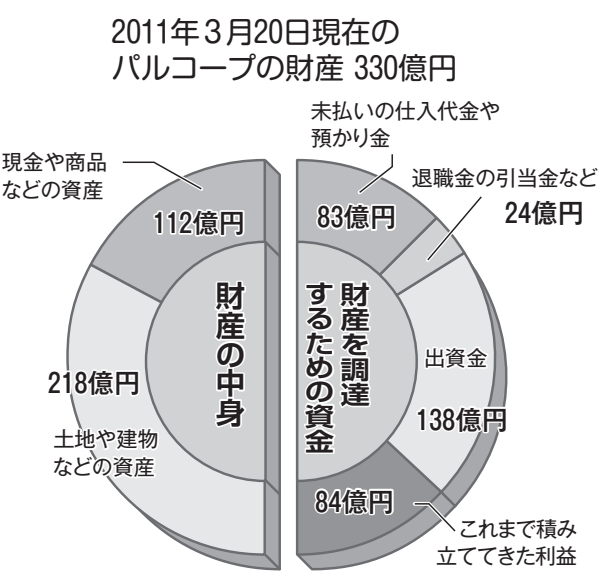
また、26名の総代からも、組合員活動、平和、店舗、
震災支援、福祉について意見が寄せられ、文書で配布し
ました。

* 退任のごあいさつ *

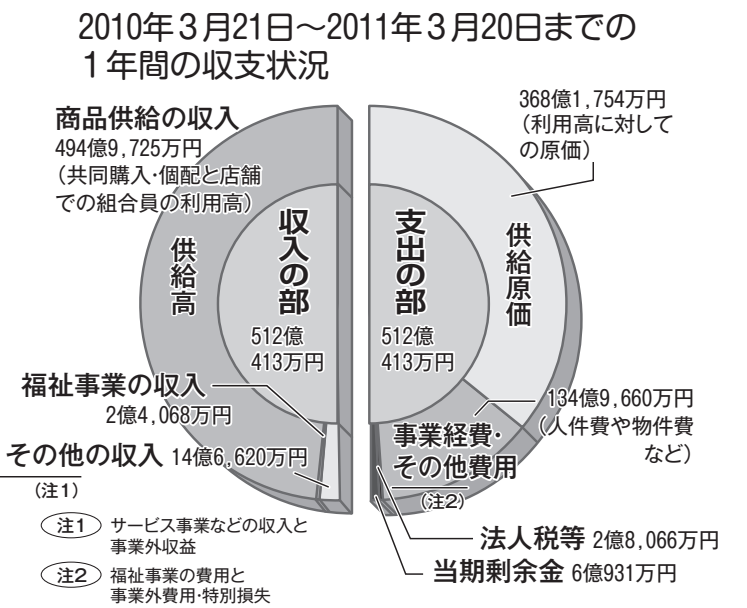
日本生協連の職員だった私がパルコートの前身で
ある大阪かわち市民生協の設立準備に関わって以
来、36年となりました。その時、自分の子どもたちの
ためにより安全な商品が欲しいと思うお母さん方の
思いが原動力となり、生協を創っていかうとする
力強さを感じました。例えば、当時あまりなかった
「無調整の牛乳が欲しい」となれば、一般の主婦が
自らメーカーを探し、組合員を拡大し、その条件を
つくるために励まし合い、助け合いながら走り回る
姿を目の当たりにして、生協の原点とはこういうもの
かということを感じることが出来ました。まさに「目からうろこ」でした。今日の総代会
の発言の中に、人と人との関係を大切に協同して
いこうということが多く出されていました。時代
が変わっても、生協のDNAは引き継がれていること
を強く感じました。東日本大震災の復興に向けて、
協同と連帯の精神で力強く、息の長い支援活動を
続けていきたいと思います。生協の底力を発揮する時
です。こういう生協の設立、発展のために組合員の皆
さんと一緒に参加できたことを誇りに思い、感謝し
たいと思います。長い間ありがとうございました。

6名の退任理事・監事を代表して
前理事長・山本邦雄

2010年度 事業の結果



億円未満の端数を切り捨てています。



万円未満の端数を切り捨てています。

発言を受けての理事会のまとめ (要約)

会場発言・文書発言を含め38名の発言でした。議案を補強し、自らの
活動として発展させ、事業との連動・共同、今後の改善についで発言し
ただきました。今年度の事業活動に生かさせていただきます。

組合員活動について
多岐にわたる活動の発言をいただきました。組合員活動への参加人数減少と
活動の維持の困難さについて、組合員活動のあり方をみなさんと引き続き模索
してまいります。文書発言であった、組合員活動の場での1歳未満保育のご
要望についても、専門家の意見を聞きながら、検討してまいります。
事業との連動では、あらためて連絡や相談を密にして、できることを一つで
も多く行なっていきます。

店舗について
2010年度、事業成立の前提となる黒字まであとわずかになりました。
2011年度も引き続き組合員さんと職員が共同で店舗事業成立をめざし、一
緒に悩み考えながら進めていきます。今年度、事業の成立のめどをつけて新店
舗の着手を考えます。

共同購入について
4月から、商品の少量化、商品案内のページ数と品目数を削減しました。7
月以降さらに検証し、組合員さんの利用の声とデータで改善をすすめます。
くらしの中の商品交流会では、地域活動委員会に事前にお知らせし、それぞ
れの役割で連動してすすめていきます。

生産者との信頼・応援
被災された生産者・お取引先の復興に、企画・利用で応えていきます。安全
の確認もしながら風評被害に同調せず、被災地の商品を通常企画・応援企画で
すすめていきます。昨年を上回る生産者との交流を通して、日本の農業の継続
と自給率向上に寄与していきます。

「良かった」の声を生産者の皆さんへの最大の励ましとし、「改善要望」の
声は、生産者・パルコートの商品部・組合員さんの3者で進めます。

組合員のみならずとともに、協同組合の精神を発揮して被災地に寄り添う活
動とあわせ、数多くの事業を両立させる充実した1年にしていきます。